

「文化芸術の街・北九州」発信予算

～ 東京2020大会を見据えた文化施策の充実を目指して ～

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会）は、スポーツだけでなく文化の祭典でもあります。

国においては各地で文化オリンピックアードを開催するなど、東京2020大会の機運醸成に向けた取組みが始まっています。

この動きを、本市は文化振興を図る好機ととらえ、改訂した文化振興計画（目標年次：2020年度）に基づき、新たな文化事業に取り組むほか、積極的に本市文化芸術の魅力を国内外に発信し、次世代に誇れるレガシー創出（未来への継承）に向けた取組みを進めていきます。

平成29年度は東京2020大会の開催に向け、第一歩を踏み出す年です。その主な取り組みとして、小学3年生を対象とした美術鑑賞事業「（仮称）ミュージアム・ツアー」の実施をはじめ、次世代を担う子どもたちや市民が多彩な文化芸術に親しむ機会の充実をより一層進めていきます。また、本市の文化資源を最大限活用した、「文学の街」「合唱の街」「映画の街」をさらに発展させる取り組みや、小倉祇園太鼓などの貴重な文化財の保存・継承に向けた取り組みを進めるほか、北九州国際音楽祭や（仮称）日中韓新人MANGA選手権など、国際色豊かな事業を展開していき、本市の魅力を最大限に発信していきます。

平成29年度文化芸術関連予算	4,553,343	（千円）
平成28年度文化芸術関連予算	4,476,878	（千円）
増額予算	76,465	（千円）
		（1.7%増）

<文化振興計画4つの戦略に係る主な事業>

戦略1 北九州市らしさや特長をさらに強化し、市民のシビックプライドを醸成する

伝統芸能や文化財、著名な作家を輩出している文学、漫画・アニメなどのメディア芸術といった、本市の文化芸術の強みを生かして、市民のシビックプライドをより高める施策を展開します。

◆**新**小倉祇園太鼓調査事業

小倉祇園太鼓が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたことに伴い、文化財としての価値を明らかにすべく調査を行うもの。

10,520千円



◆児童文学の顕彰事業

19,600千円

(対前年比 +16,600千円)

(他に債務負担32,000千円)

みずかみかずよ、阿南哲朗など本市ゆかりの児童文学者を顕彰するため、平成30年度に開設予定の「子ども図書館」の一角に、「児童文学の顕彰コーナー」を整備する。平成29年度については、顕彰コーナーの設計や関係する作家の資料収集などを行っていく。

◆**新**杉田久女・橋本多佳子顕彰事業

13,000千円

市ゆかりの俳人である杉田久女・橋本多佳子について、観光客等にPRを行うため、その業績を紹介するコーナーを、小倉城庭園に整備する。これまで収集した資料のほか、櫓山荘の模型なども展示する。



杉田久女 橋本多佳子

◆**新**北九州市立文学館展示リニューアル検討事業 2,000千円

平成32年度のリニューアルオープンに向けて学識経験者等による検討会を開催し、意見等を踏まえながら方向性やコンセプトなどを決定するもの。

◆北九州国際漫画大賞

7,000千円

漫画の持つ魅力・ポテンシャルを国内外に向けて広く発信し、漫画文化の普及を図るため、昨年に引き続き、北九州国際漫画大賞を実施する。審査員に松本零士氏をはじめ北九州市ゆかりの作家を迎え、国内外から作品を募る。

◆「合唱の街づくり」推進事業

12,000千円

(うち拡充分 4,000千円)

多くの市民が合唱に参加する街づくりを進めていくため、小中学生とシニア世代がともに合唱する場の提供や街かどでの合唱の披露、国内トップレベルの声楽家による合唱指導、高齢者向けの合唱事業などを実施する。

<参考>

教育委員所管分

◆「北九州市中学生合唱フェスティバル」開催事業

4,700千円

音楽を通して、子どもたちの豊かな情操を育むとともに、音楽や合唱に親しむ本市の文化的風土を醸成するため、「北九州市中学生合唱フェスティバル」を開催する。

戦略2 次代の担い手を育て、新たな文化芸術の創造につなげる

子どもたちが質の高い文化芸術を身近に観て、聴いて、体験して、感動する機会を増やすとともに、若手のアーティストが創造し、活躍できる環境の整備を進めます。

◆**新**美術鑑賞事業「(仮称)ミュージアム・ツアー」 6,000千円

小学3年生を対象に、リニューアル後の美術館を舞台に新たな美術鑑賞プログラムを実施する。すぐれた美術品の鑑賞に加え、世界的建築家が設計した本館、閑静な丘陵から海まで見渡せる美術の森公園の眺望などの体験を通して子どもたちの想像力と感性を育成することでシビックプライドの醸成を図る。
(H29は20校程度を試行的に実施)

◆優れた文化芸術との“出会い”創造事業 18,000千円

感受性の豊かな幼少時から優れた文化・芸術に触れる機会を増やすため、様々な場所で音楽や美術、伝統芸能等を体験する機会を多く創造する。H29年度については、引き続き学校における^{こと}箏などの伝統芸能の体験授業を充実するとともに、放課後児童クラブ等での音楽アウトリーチ事業を拡大する。



箏(こと)の体験授業

◆子どもノンフィクション文学賞 12,502千円

子どもたちが、人間や社会への関心を持つ契機となり人間としての成長を促すことを目的に、国内外の小中学生を対象として実施している子どもノンフィクション文学賞を、さらに全国発信する。



◆林芙美子文学賞 16,000千円

本市にゆかりが深く、「放浪記」「浮雲」などの作品で知られ、短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞を実施する。多くの文学者・作家を輩出した本市の豊かな文化的土壌を、全国に発信するとともに、北九州市文化振興計画の重要な柱である「人材育成」に寄与することを目的とする。



林芙美子文学賞選考委員による記念トーク

◆**新**響ホール音楽練習室整備事業 40,000千円

市内の音楽の練習室は、稼働率が高く予約が取りづらい状況が生じている。この状況を解消するため、国際村交流センター2階の空きスペースを音楽の練習室として改修し、響ホールの諸室として管理することで、音楽の拠点施設である響ホールの機能強化を図るもの。

戦略3 文化芸術を生かした、ひとづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む

教育、福祉、観光、産業など幅広い分野と連携しながら、文化芸術の持つ底力を生かし、市民がいきいきと生きるまちづくりやにぎわいづくりを進めます。

◆**新**（仮称）市内文化施設等共通パスポート事業 3,000千円

文化施設の利用促進とまちの賑わいを創出するために、各施設を1冊で回ることが出来る共通観覧券（パスポート）を試験的に導入（1日パス、3日パス）し、利用状況等の調査研究を行い本格実施の可能性を検討する。

◆北九州文学サロン管理運営事業 12,000千円 (対前年比 +5,000千円)

平成29年3月25日に開設予定の「北九州文学サロン」の管理運営を行い、施設の利用促進を図る様々な取り組みを実施しながら、「文学の街・北九州」を発信する。



文学サロン立ち上げのためのワークショップ

◆**新**リニューアル記念特別展「ターナー展」 30,000千円

平成29年11月の美術館リニューアルオープンを記念して、国内外で人気の高い大型の企画展「ターナー展」を開催する。

◆いのちのたび博物館の特別展の充実 55,600千円 (対前年比 +6,916千円)

いのちのたび博物館は、平成29年度に開館15周年を迎えることから、15周年の記念特別展の開催など、展覧会の内容を充実させることで、博物館の魅力を更に高め、街のにぎわいにつなげていく。



◆**新**「（仮称）小倉城と城下町の歴史」出版事業 5,000千円

小倉城の歴史を掘り起こし、市民や訪問者にわかりやすく理解してもらうための書籍（「小倉城本」）を出版することで、文化・観光資源としての小倉城の価値を高めるもの。平成31年の小倉城天守閣再建60周年を記念して、平成30年12月に刊行予定。

◆**新**アートディレクター会議運営事業 **2,000千円**

専門家（アートディレクター）から本市の文化芸術についての助言をいただき、それを活用することでさらなる文化芸術の振興を図るとともに、創造的なまちづくりに文化芸術の力を生かすための方策を検討する。

<参考>

保健福祉局所管

◆**障害者芸術文化事業** **2,000千円**

芸術・文化活動を通じて、障害のある方の社会参加と自立を促進するため、作品展示、ステージ発表からなる障害者芸術祭を開催する。また、ホームページや情報誌等を活用し、障害者芸術に関する情報を広く発信することで、市民の理解と認識を深める。

産業経済局所管

◆**COOL KITAKYUSHU推進事業** **12,000千円**

都心部のにぎわい創出を目的として、漫画・アニメ等のポップカルチャーを切り口に、大規模イベントの開催や情報発信等を実施する。

戦略4 本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する

国内にとどまらず世界に向けた情報発信について工夫します。また、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会の開催を踏まえ、機運醸成やレガシー創出を図るため、国際色豊かな事業を展開します。

◆**新** (仮称) 日中韓新人 MANGA 選手権 5,000千円

漫画家を志す新人クリエイターの発掘、国際的な活躍への支援を行うことで、漫画文化の普及・振興を図るため、(仮称)日中韓新人 MANGA 選手権を3カ国持ち回りで開催する。(H29.8月頃 韓国：富川市、H30 北九州市で開催予定)

～ ロケ地 北九州の魅力を国内外に発信する ～

◆ 関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致・支援事業 25,000千円

◆**新** みんなで創る「映画の街・北九州」ブランド発信事業 5,000千円

関門海峡を中心としたロケ地としての北九州市・下関市の魅力を活用して、国内外の映画・テレビドラマの誘致を行うほか、映画の街・北九州をテーマにした支援作品などを活用して、映画にゆかりのある市民、事業者が一同に集まるPRイベントを開催するなど、「映画の街・北九州」という都市ブランドを全国に発信する。



映画「相棒IV」北九州ロケ

～ 外国人観光客をターゲットに集客の向上を図る ～

◆**新** 漫画ミュージアム海外集客対策事業 3,000千円

◆**新** 松本清張記念館 IT技術を活用した展示内容の拡充等事業 1,500千円

海外からのインバウンドに対応するため、文化施設の外国語館内サインの設置や外国語版ホームページの開設などを行い外国人観光客の増加につなげる。

◆ 北九州国際音楽祭 50,000千円

(対前年比 +10,000千円)

30回目を迎えることを記念して、国内外で活躍する著名アーティストを招聘したコンサートの開催など、例年に増してバラエティに富んだプログラムを提供する。



北九州国際音楽祭

◆ 松永文庫企画事業 9,000千円

(対前年比 +2,500千円)

昨年5月の日本映画批評家大賞特別賞を受賞したこと等により、全国的に注目を集めていることから、企画展示やイベント等の拡充や、本市ゆかりの高倉健氏の特別企画展を行うなど、その魅力を全国に発信する。



松永文庫

戦略に係る主な事業に関するお問合せ先

	重点的な取組み（事業）名	担 当
【戦略1】 北九州市らしさや特長をさらに強化し市民のシビックプライドを醸成する		
1	⑨小倉祇園太鼓調査事業	文化企画課（文化財係）
2	児童文学の顕彰事業	文化企画課（文芸ライン）
3	⑨杉田久女・橋本多佳子顕彰事業	文化企画課（文芸ライン）
4	⑨北九州市立文学館展示リニューアル検討事業	文学館
5	北九州国際漫画大賞	漫画ミュージアム
6	「合唱の街づくり」推進事業	文化企画課（美術・舞台芸術ライン）
【戦略2】 次代の担い手を育て、新たな文化芸術の創造につなげる		
7	⑨美術鑑賞事業「（仮称）ミュージアム・ツアー」	美術館
8	優れた文化芸術との“出会い”創造事業	文化企画課（美術・舞台芸術ライン）
9	子どもノンフィクション文学賞	文学館
10	林芙美子文学賞	文学館
11	⑨響ホール音楽練習室整備事業	文化企画課（施設係）
【戦略3】 文化芸術を生かした、ひとづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む		
12	⑨（仮称）市内文化施設等共通パスポート事業	文化企画課（施設係）
13	北九州文学サロン管理運営事業	文化企画課（文芸ライン）
14	⑨市立美術館特別展「ターナー展」	美術館
15	いのちのたび博物館の特別展の充実	自然史・歴史博物館
16	⑨「（仮称）小倉城と城下町の歴史」出版事業	自然史・歴史博物館
17	⑨アーツディレクター会議運営事業	文化企画課（文化調整ライン）
【戦略4】 本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する		
18	⑨（仮称）日中韓新人MANGA選手権	漫画ミュージアム
19	関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致・支援事業	文化企画課（メディア芸術ライン）
20	⑨みんなで創る「映画の街・北九州」ブランド発信事業	文化企画課（メディア芸術ライン）
21	⑨漫画ミュージアム海外集客対策事業	漫画ミュージアム
22	⑨松本清張記念館 IT技術を活用した展示内容の拡充等事業	松本清張記念館
23	北九州国際音楽祭	文化企画課（美術・舞台芸術ライン）
24	松永文庫企画事業	文化企画課（メディア芸術ライン）

文化企画課：582-2391

文学館：571-1505

漫画ミュージアム：512-5077

美術館：882-7777

自然史・歴史博物館：681-1011

松本清張記念館：582-2761